

## 【人権の窓】

### 「あなたは、先生のどんなことばがうれしかったですか？」

県内の高校では、同和教育中高連絡協議会や職場の教職員研修会などで、同和地区を訪ねて被差別体験を聞いたり、解放子ども会の研修をするなど、差別の現実に学ぶ研修や、アイマスク体験やワークショップなど体験的参加型の研修などが行われています。

N高校では、ある年の教職員同和教育研修会で、「教師のどんなことばが、生徒を励まし、勇気づけるのか、どんなことばが、生徒の心を傷つけるのか」をテーマに、生徒へのアンケートをもとに話し合いを深めました。そして、毎日の生徒との関わり合いを振り返り、人権感覚を磨き合う研修をしました。アンケート用紙に、上のテーマについて、生徒の思いつくままに、その言葉などを記入してもらいました。「とくになし」という答が大部分でしたが、少数ではあれ、教師に対する厳しい注文もあり、教師自身を振り返る良い機会になりました。そのアンケートの一部を紹介しましょう。

#### 【あなたは教師のどんなことばに対して、うれしく思いましたか】

- ① テストの点が上がったとき、「よく頑張ったね、よくできてるよ」
- ② 「がんばれ」とか「よくやった」とか。
- ③ 何かをやって、ほめられたとき。  
(その他) 体調の悪かったときに、「だいじょうぶか？」と声をかけてもらったとき
  - ・文化祭の準備などで「よくやった」とか「ごくろうさま」といわれたとき
  - ・友人関係や進路など自分のことに一緒に真剣になって考えてくれたとき
  - ・ちゃんと話を聞いてくれ、ちゃんと答えを返してくれたとき
  - ・あいさつをすると、ちゃんと返してくれるとき

#### 【あなたは教師のどんなことばに傷つけられましたか】

- ① 「ばか」「アホ」とか「ばかか、おまえは」ということば
- ② 「馬鹿野郎！こんな問題できねえんか」「こんなことできねんか」
- ③ 「だから、〇〇高校は、だめなんだよう」  
(その他) ・分からないことを聞いても、あいさつしても無視されたとき
  - ・住んでいる所を「山」だの「遠い」だの「電車はあるの」などいわれた
  - ・「おい〇〇、どうせこれやったのおまえだろ」
  - ・嫌味ばかりいう先生